



がしの木

第15号



ヘッドライン・ニュース

- ◆12月会議のお知らせ.....2～3
- ◆10月会議のお知らせ.....3
- ◆住民と議会との意見交換会.....4～5
- ◆常任委員会視察研修.....6～7
- ◆町政を問う 一般質問.....8～15
- ◆声の広場.....16



おゆりん



みずりん

12月会議で決まりました

12月5日～12月23日に定例議会が招集され27件の議案が審査されました。
27議案は全会一致で可決となりました。



令和4年12月会議(定例会)賛否の公表

条例の制定

原案
可決

議第73号

鏡野町太陽光発電設備の適正な設置及び維持
管理に関する条例の制定について

条例の廃止

原案
可決

議第87号

鏡野町職員の再任用に関する条例の廃止について
議第88号
鏡野町サン・シルバー基金条例の廃止について

条例の一部改正

原案
可決

議第74号

鏡野町職員の給与に関する条例の一部改正に
ついて

議第75号

鏡野町職員特殊勤務手当支給条例の一部改正
について

議第76号

鏡野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償
に関する条例の一部改正について

議第77号

鏡野町職員の定年前に退職する意思を有する
職員の募集等に関する条例の一部改正につい
て

議第78号

鏡野町公益的法人等への職員の派遣等に関す
る条例の一部改正について

議第79号

鏡野町職員の定年等に関する条例の一部改正
について

議第80号

鏡野町職員の懲戒に関する条例の一部改正に
ついて

議第81号

鏡野町人事行政の運営等の状況の公表に関す
る条例の一部改正について

議第82号

鏡野町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
の一部改正について

議第83号

鏡野町職員の育児休業等に関する条例の一部
改正について

議第84号

鏡野町学校職員の懲戒の手続及び効果に関す
る条例の一部改正について

議第85号

鏡野町上水道企業職員の給与の種類及び基準
に関する条例の一部改正について

議第86号

鏡野町立公民館設置条例の一部改正について

公の施設に係る指定管理者の指定

原案
可決

議第89号～92号

公の施設に係る指定管理者の指定について

一般会計・特別会計補正予算

原案
可決

議第93号

令和4年度鏡野町一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算にそれぞれ1億4800万円を追加し
128億1700万円とする

議第94号

令和4年度鏡野町国民健康保険特別会計補正予算
(第4号)
直営診療施設勘定の歳入歳出予算にそれぞれ317
万8千円追加し、2億7千526万5千円とする

議第95号

令和4年度鏡野町介護保険特別会計補正予算
(第1号)
歳入歳出予算にそれぞれ6897万円を追加し、
17億4625万円とする

議第96号

令和4年度鏡野町下水道事業会計補正予算
(第1号)

議第98号

令和4年度鏡野町一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出予算にそれぞれ1020万円を追加し128
億2720万円とする

訴えの提起

原案
可決

議第97号

訴えの提起について

発議

原案
可決

発議第7号

議員定数及び報酬並びに予算決算審査検討
特別委員会の設置について

鏡野町太陽光発電設備の適正な設置及び維持管理に関する条例の制定について

太陽光発電設備の生活環境に及ぼす影響に鑑み、太陽光発電設備の設置及び適正な維持管理に関して必要な事項を定めることにより、良好な自然環境及び生活環境を保全することを目的とする。

(発電出力が50キロワット以上の太陽光発電設備を設置する事業者は、町と事前協議及び近隣関係者等に説明が必要となり、最終的に当該事業者は工事着手前に町長に届出が必要となる。)

議員定数及び報酬並びに予算決算審査検討委員会の設置について

本町における適正な議員定数及び報酬並びに予算決算審査の在り方について調査、研究を行う。特別委員会の設置期間は、令和4年12月23日から令和5年12月31日までとする。令和4年12月23日に第一回の委員会が招集され、委員長、副委員長が決定しました。委員長：牧田 俊一 副委員長：飯綱 洋平

注目施策

令和4年度12月補正予算

令和4年度 鏡野町一般会計補正予算(第6号)

出産・子育て応援事業 1020万円

国の妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援(妊娠届出時・出生届出時を合わせて計10万円相当)を一体として実施する事業が創設されたことに合わせて、本町でも出産・子育て応援事業をスタートし、妊娠時5万円、出生時5万円を支給するもの
令和4年度(4月1日以降)出生分より

公の施設に係る指定管理の指定について

指定管理者制度 多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設(住民の福祉を増進する目的をもってその利用に供するための施設)の管理に民間の能力を活用しつつ、住民サービスの向上や経費の節減などを図るものです。現在、鏡野町内85施設について指定管理制度を利用しています。R5.4.1～R10.3.31

鏡野町恩原高原スキー場

○一般財団法人上齋原振興公社



鏡野町富公共育成牧場

○合同会社長尾授精所



鏡野町うたたねの里

○赤和瀬農家組合



鏡野町文化スポーツセンター

鏡野町総合グラウンド

鏡野国民運動場

鏡野多目的屋内運動場

鏡野町B & G海洋センター

鏡野町スポーツロッジかがみの

○特定非営利活動法人きらり鏡野



10月会議で決まりました

10月14日に随時会議が招集され2件の議案が審査され、全会一致で可決されました。



令和4年10月会議(定例会)賛否の公表

補正予算

原案 可決

議第71号

令和4年度鏡野町一般会計補正予算(第4号)
歳入歳出それぞれ2億7800万円を追加し
126億6900万円とする

議第72号

令和4年度鏡野町国民健康保険特別会計補正
予算(第3号)
直営診療施設勘定の歳入歳出それぞれ111万
1千円を追加し総額2億7208万7千円とする

注目 事業

令和4年度10月補正予算

令和4年度鏡野町一般会計補正予算(第4号)

物価高騰対策臨時給付事業 1億3200万円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格及び物価高騰の影響を受ける住民生活の負担を軽減することを目的として町民一人当たり1万円を給付する

意見交換会 開催

参加者
37名

新型コロナウイルス感染症により、開催することができなかった「町民と議会との意見交換会」も2年ぶりに開催することができました。

10月29日に、上齋原地域と富地域、11月5日には、奥津地域と鏡野地域で開催しました。参加人数には地域差がありますが、それぞれの会場で「鏡野町の教育の現状と課題について」をテーマに、多くの質問や要望が出され、充実した意見交換会になりました。各会場でいただいたご意見は、1班、2班で取りまとめ、執行部への提言と今後の議会のあり方に活かしていきます。そして、意見交換会でいただいた「疑問点」や「要望」の一部を紹介します。回答は、次回以降の「かしの木」に掲載することとし、政策提言書は鏡野町の広報紙に差し込みますのでご覧ください。

要望

栄養委員、愛育委員は地域を代表する幹事になれば、年間3〜4回の会合があり、町外へ出ることもある。勉強になるが、委員も幹事も一律に年報酬で、栄養委員は2万円・愛育委員は3万円と決められている。報酬ではなく、出た時だけに支給される旅費など費用弁償にしたい。

要望

告知放送を屋外で聞くことがあるが、井坂地域、養野地域では、音が反響して何を言っているのかわからない。このままでは、大切な告知を聞き逃す可能性がある。よく聞こえるように、研究してもらいたい。

要望

高清水トレイルにチップが敷いてあるが、固めていないので荒れている。

登山者に「ウッドチップを運んでください」とあるが、リュックにも入れられず運びにくい。運べる方法を考えてほしい。

また、人形峠に設置の「トイレが臭い」と評判が悪い。改良していただきたい。

要望

各公民館や各避難所にもミニコン（WiFiファイ）を設置してほしい。必要性を感じて以前にもお尋ねしたが回答はいただけなかった。



新型コロナの影響で
2年ぶり

第9回 町民と議会との

要望

議場を使わせてもらいたい。中学生の社会勉強にもなる。地元に残り将来議員になる子どもが出てくるかも知れない。ご検討ください。



疑問

ホームステイで以前、カナダと上海の中学生を受け入れた。津山市の小学校では交流ができたのに、鏡野中学校では受け入れられなかった。もっと、国際交流の幅を広げても良いのではないか。



疑問

旧奥津中学校のグラウンドの管理は誰がしているのか。
地元住民はグラウンドを使用できるのか。

要望

鏡野給食センターに庁舎側から上がる坂道を納品業者が行き来し、登校の生徒と時間帯が重なり危険です。通行を許可されている車両なら出入りできる等の制限を設けてほしい。

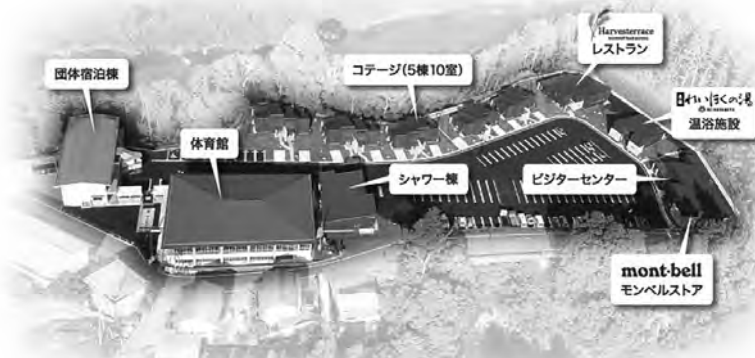
各地区の参加者数

10月29日(土)	11月5日(土)
上齋原公民館 5名	鏡野中央公民館 17名
富 公民館 5名	奥津振興センター 10名

産業常任委員会 視察報告

産業常任委員会では、令和4年11月24・25日、委員長／山本秀久、副委員長／岡田高幸、委員／岸 泰廣、片田八重美、仲西祐一、牧田俊一、随行者／原 章倫議長 以上7名でアウトドア関連の事業を展開する、(株)モンベルが運営する高知県「モンベルアウトドアビレッジ本山」を視察しました。

本山町は四国のほぼ中央に位置しており、道中から、到着まで「鏡野に帰ってきたみたい」と思うほどでした。そんな田舎町に出店した「モンベルアウトドアビレッジ本山」は、本山町の観光を牽引する、大きな存在であろうと思います。



▲研修会

現地意見交換会では、本山町の高橋 副町長、中西 政策企画課長、モンベル本山店の山中店長より、お話をお伺いしました。中学校の跡地利用の解決策として、モンベルから提案をもらい、**町産材の使用を条件に5年間の指定管理で契約**。年間来場者数は約6万3千人で、近隣スーパー等の売上アップにも貢献しています。コテージ利用者は年間8千人、稼働率は約50%（夏休み期間中は約90%）旧中学校の技術・家庭科教室棟をリノベーションした団体宿泊施設及び体育館は、コロナの影響で稼働できていないが、コロナ収束後に期待したいとのことでした。



コテージは内装、外装ともに、町産材を利用して造られた、素晴らしくオシャレな施設でした。入浴施設「土佐れいほくの湯」は、温泉ではありませんが、地元の方の利用も多いようです。鏡野町では温泉が利用できれば、更なる集客が期待できるのではないのでしょうか。

今後の課題については、モンベルに訪れたお客様が、町内を回遊できる仕組みを作ることです。また、将来発生する修繕費・改修費等については、お互いの信頼関係の下に協定書等、現在協議中とのことでした。

(産業常任委員会 副委員長 岡田高幸)

◆山本委員長 総括

モンベルの施設が鏡野町にできれば、新しい雇用が生まれ、若者の移住者が増え、観光客の増加が見込まれる。課題としては、施設に係る費用対効果に疑問の余地がある。しかし、町の活性化のためには、ある程度リスクを負ってでも、新しいことに挑戦する価値があるのではないかと考える。



総務常任委員会 視察報告

総務常任委員会では、令和4年11月16日、委員長／小椋晶志、副委員長／難波達男、委員／長石幸男、仲西祐一、花房 尚、藤田照子、随行者／原 章倫議長 以上7名で鳥取県南部町と津山市加茂町上加茂地区を視察しました。

南部町の取組については、

- (1) お試し住宅の整備
 - (2) 子育てや若年層世帯への移住・定住支援策
 - (3) 南部町空き家等の適正管理に関する条例
 - (4) NPO法人なんぶ里山デザイン機構の取組
- 以上4項目について伺いました。

南部町においては2015年から2045年の間に生産年齢人口が43.7%減少することが予想されています。平成25年度に町内少子化対策を検討、平成26年度に少子化対策プロジェクトを立ち上げ、移住・定住施策を拡充し、少子化対策を重点にシフトしました。移住・定住支援メニューの拡充に向けて取り組むため、平成27、28年度にかけて、なんぶ創生100人委員会を組織編成し、提言をまとめ町長に提出しました。住民主体のNPO法人なんぶ里山デザイン機構をつくり、分科会「農林・商工」「観光」「移住・定住」「子育て支援」「まちづくり」に取り組まれました。

今回のテーマである移住・定住については、空き家の調査から始めて、空き家の利活用をするため機構が間に入り、所有者の相談を受けて、リフォームできる物件については機構が行い、借り手との交渉を進め、機構を通して職業紹介も行いました。現在までに40件以上の空き家を改修し、100名以上の移住者を受け入れているそうです。

課題としては、

- (1) 移住の申込みはあるが提供できる物件や土地がないために対応ができていない。
 - (2) 物件の老朽化が進み改修コストがかかること。
 - (3) 家財の処分方法・サブリース事業を安定的に継続できる財源が確保できない。
- などがあるそうです。

上加茂地区の取組については、2009年住民自治協議会モデル地区から始まりました。2016年住民アンケートを実施、地域課題に合わせた体制づくりとして、令和元年度から空き家部会を設置しました。マップ作りから始めて毎年見直し、空き家の外観内観調査・ランク付けを行っています。最初に住民参加で空き家を掃除して令和元年に1件の移住者が決定。その後計6名の新規移住が決まったそうです。まずは1軒から清掃・片付けなどボランティアで活動していくのが大事だと学びました。(総務常任委員会 副委員長 難波達男)



▲えん処 米や（鳥取県南部町で里山暮らし体験）

町政を問う

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたって執行機関に対し疑問点を質し、所信の表明を求めるものである。

ページ	議員名	質問内容
9	片田八重美	1. 観光地に整備するトイレの現状について 2. 高齢者の冬の居場所づくりについて
10	岸 泰廣	1. 新入学児童への支援 2. 放課後児童クラブ
11	鈴木 大介	1. デジタル田園都市国家構想など、デジタル化社会に向けた鏡野町の取組について
12	藤田 照子	○ 子育て支援課の役割について 1. ファミリーサポート体制について 2. 鏡野風力発電について 町長としての立場は ○ // 地元と業者のコミュニケーションについて ○ // 町長の責任について
13	花房 尚	1. 原子力事故対策 広域避難計画 ○ // 防災訓練 2. 仮称 J R E 鏡野風力発電事業 水環境 ○ // 建設予定地と地震 ○ 町地域情報通信施設整備運営事業 鏡野光サービス ○ 学校給食費の無償化
14	飯網 洋平	1. 学校のメンタルヘルスケア・不登校対策について ○ 町北部地域の振興・まち全体構想について 2. 芸術祭と観光振興について
15	牧田 俊一	1. 現状の予算規模・財政力指数について 1. 決算収支の歳入について 1. 決算収支の歳出について 1. 次世代に負担を残さない取組について 1. 不納欠損額について ○ 身近な広報誌・わかりやすい広報紙について
※	仲西 祐一	○ 放課後児童クラブの現状と今後について ○ 定住促進

※仲西議員の一般質問のページは本人の意向で掲載をしておりません

議会だよりには、2問のみ掲載しています。○印のものは掲載していません。



片田 八重美 [かたた やえみ] 議員

質問 奥津溪、みずの郷奥津湖、越畑ふるさと村などの観光トイレを今後どうするのか



財源等を鑑みながら、訪れた人に環境のいい整備を心掛けたい

問 気になる観光地のトイレ5つを順に尋ねる。1つ目が、奥津溪のトイレ。整備をお願いしてから数年経過するが、現在どのような状況にあるのか。

答 町長 国の名勝地「奥津溪」での許可が可能になる設計を行っている。若干先伸びになっていたが、令和5年度の当初予算に計上し整備したい。

問 山の水を利用したトイレだが、度々濁水となり、名勝地奥津溪の名に恥じるトイレに思う。どのように整備するのか。

答 産業観光課長 洋式化を第一とし、地形的に薄暗いトイレを明るくし、スロープをつけバリアフリーを目指した多目的トイレとして整備する。

問 山の水はどのよう

に整備するのか。

答 産業観光課長 水源の水量確保の工事を進めたい。

問 2つ目が「みずの郷奥津湖」のトイレであり、山の水を使用している。早急な改善が必要に思うが。

答 町長 アクティビティを中心とする観光の町を目指す町として、重要な課題と捉え、令和5年度新たな水の供給手段を模索し、水の安定的な供給を行いたい。

問 トイレの臭いがレストランまで漂うことが度々である。配慮した設計を望みたい。

答 産業観光課長 十分現地を確認し配慮する。

問 3つ目が「越畑ふるさと村」のトイレであ



▲奥津溪トイレ

る。今の時代に即さないトイレとして不評だ。今後どのようにするか。

答 町長 三年ぶりの「越畑もみじまつり」を香北地域づくり協議会主催で開催し賑わった。その際には仮設トイレで対応したが、地元の方から特段の要望は聞いていない。

問 観光地としてトイレは重要だ。今後越畑地域をどのように位置づけるのか。

答 町長 地元で管理する方が少なくなった。今

後も、継続的にイベントを開催するとなれば、整備に対しても研究しなければならない。

問 4つ目は、岩井滝のトイレ。5つ目が県立森林公園のトイレ。いずれも時代に即していないトイレである。森林公園は県で

答 町長 岩井滝のトイレについては財源上、当面の課題と理解してほしい。

問 森林公園については引き続き要望する。

質問 高齢者の冬の居場所づくりについて

答 住民の方からの直接の相談はない

問 昨年に引き続きの質問だが、各地域の声を聞かれた。その後の状況は。

答 町長 令和4年1月の民生委員幹事会で各地域の声を聞いたが、特に、意見も相談もなかった。町としては、冬期間少人数だが、自宅を離れ小規模多機能型居宅介護施設や住宅型

問 有料老人ホームなどを利用している方がいることは把握しているが、住民からの相談はない。

答 町長 冬季限定おたけし住宅のようなことは考えないのか。

問 民間のシェアハウスなどが町内にも開設されているので利用してもらいたい。

質問 新入学児童・生徒への支援は考えているか



全ての新入学の児童・生徒を対象とした具体的な支援策については、財源などの課題があるので今のところは考えていない



岸 泰廣 [きし やすひろ] 議員

問 物価高騰により新入学児童、生徒への支援はできないか。



答 教育長

経済的理由のため就学が困難な児童、生徒の保護者に対し、援助を行う「新入学学用品費の入学前支給制度」がある。支給対象者は、非課税世帯や、児童扶養手当の受給世帯等に限られるが、令和4年度では、学用品費として、小学校入学児童に一律5万1千60円、中学入学生徒に一律6万円を支給した。すべての新入学児童、生徒を対象とした具体的な支援については財源などの課題があるので、今のところは考えていない。

質問



コンプライアンス研修の予定は

総務課が主催で開催されるものには会計年度任用職員指導員には全て声をかけて参加していただく

注 鏡野町放課後児童クラブ指導員は「鏡野町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例」の規定で全員パートタイム会計年度任用職員（旧鏡野町臨時職員）に区分しており、週5日、学校授業日は4時間30分、学校休業日は7時間45分勤務する指導員を「フルタイム指導員」、時間や日数の少ない勤務をする指導員を「パート指導員」と表現する。



問 令和4年度のスタート時の指導員は何名だったか。

答 町長

令和4年度の指導員はフルタイム指導員34名、パート指導員9名の合計43名。12月現時点では45名。休暇は自由に取りにくい状況にある。

問 令和5年度に向けて指導員の契約人数は。

答 町長

令和5年度に向けて指導員の面談を実施し、継続勤務の意思確認などを行ったところ、フルタイム指導員は33名中28名が継続希望で5名が退職を希望している。パート指導員は12名中7名が継続希望で、5名が退職を希望している。

問 新年度は指導員が何名必要か。

答 町長

令和4年度と同様（45名）の運営をするには、ほぼ同数の指導員が必要であり、この為、フルタイム指導員は4名、パートタイム指導員は勤務可能な時間数にもよるが、5名程度は新規に確保する必要があると考える。

問 今後、採用のメドはあるか。

答 町長

令和5年度に向けて広報紙、ハローワーク、町内公共施設へのポスター掲示などを通じて募集を行う予定。令和4年度の指導員の募集状況や、退職希望者が当初の想定を大きく超えていることから、必要とする人数を採用することは難しいと考えている。

問 指導者のコンプライアンス違反があった場合は。

答 町長

放課後児童クラブの指導員は、鏡野町の会計年度任用職員であり、コンプライアンスは当然守られるべきである。万が一、コンプライアンスに反する事態が生じた場合は、町の規定に従って、厳正に対応していくこととなる。



鈴木 大介[すずき だいすけ] 議員

質問

今後、町のDX人材の育成について方針は



答弁

業務を担当する中間層に集ってもらい検証し、外部からの意見ももらえるシステムを構築していきたい



ド決済。公金の納付は、口座振替に加えクレジットカード決済、スマートフォンによる決済

町長

マイナンバーカードによる、コンビニ

デジタル田園都市国家構想など、デジタル社会に向けた鏡野町の取組について、各部署におけるデジタル活用の現状の取組事例は。

も導入。LINEを利用したひきこもり支援相談窓口の開設、高齢者見守りSNSネットワークによるメール配信。子育て支援においては、保育支援システムによる登降園管理、保護者メール。スマートフォンアプリの子育てナビによる母子手帳機能とイベント、子育て情報のプッシュ配信、健康推進ではスマートフォンアプリによる健康ポイント事業、かがみの健康チャレンジ90日のウェブ申請受付。国民健康保険病院においては、タブレットを使う発熱外来のオンライン診療とオンライン面会を導入。河川カメラと連動した防災システムや災害時対応のiPadの導入、安全・安心メール及びLINEによる情報伝達、避難所開設時における公衆無線LANによる通信機能の確保。有害鳥獣対策としては、ドローンの活用による駆除

の効率化。スマホ教室についても継続して実施をして、情報格差の解消に努めてまいりたい。また、町ホームページのリニューアルについても継続して検討していきたい。観光事業については、プラン予約システムを導入し、パンフレットのデジタル化、観光案内所の公衆無線LAN。教育に関し、タブレット端末による個別学習、家庭学習の推進など。効率的な事務の遂行においては、RPA及びAI-OCRの導入による業務効率化や事務処理の自動化を図る実証実験を開始。農地台帳、農家台帳、上下水道管理台帳等のシステム化、電子化による効率的な管理など。

各部署におけるデジタル活用の今後の取組予定は。まちづくり課長 移住施策として空き家情報に関するデータの一元化。デマン



子育て支援課長 保育支援システムについて保育の帳票作成など便利な機能を有効に活用し、保育士負担軽減につなげてい

総合福祉課長 介護保険関係の申請について要介護、要支援更新認定の申請、被保険者証の再交付申請など11項目において令和5年度からの電子申請の利用が可能となるように協議を行っている。

くらし安全課長 スマホ教室を継続実施し、情報格差の解消。

きたい。また、電子申請等に関して、子ども医療費受給者証の交付、保育園入園手続、児童手当の手続など可能なものから導入したい。

学校教育課長 保護者からの欠席連絡アプリを導入し、欠席連絡や学校からの通信などをデータ化、電子黒板の導入を検討。

生涯学習課長 地区公民館12館について、避難所指定を受けているところが優先だが、順次公衆無線LANの導入を考えていきたい。

産業観光課長 鏡野町ファンクラブ、かがみの里山健康クラブデジタル会員証として公式アプリケーションの開発、導入、観光案内所等におけるデジタルサイネージの導入。

上下水道課長 スマート水道メーターの導入に向けた新たな実証実験の実施を予定。



藤田 照子【ふじた てるこ】議員

質問

ファミリーサポートを町独自の 利用しやすい体制に



答弁

独自で実施するには事業を行うNPOなどが必要。引き続き広域で実施していきたい

問

鏡野町の子育て
援助活動支援事業
(ファミサポ)の実施
主体は誰か、課題は何
か。

答

町長

実施主体は鏡野町。津山圏域定住自立圏の形成に関する協定に基づき実施している。課題は、会員数は増えても利用につながっていないこと。コロナの影響が大きいと考えられる。

問

鏡野地域のサブ
リーダー役が研修
や連絡調整、会員拡大
広報などを担い、かな
りの年間の活動がある。
この役割を引き継いで
いってもらうために、
現状のままでもよいと考
えるか。



答

町長

鏡野町では、令和2年度からサブリーダーを配置している。サブリーダーは、提供会員の中から選任し、会員の募集あるいは会員同士の調整などを行っていただく。配置は必須ではないが、引き継ぐ必要が生じた場合には、適任者がいればお願いしたい。

提供会員の交通費、利用者の会費に補助はできないか。

子育て支援課長
利用料金は平日1時間500円。土日と時間外の場合、700円利用会員が提供会員に直接支払う。サブリーダーには年間1万8千円。会場費が必要な場合は利用者が負担することになる。



質問

鏡野風力発電事業についての町長の立場は



答弁

国民、町民に資する事業の一つでもある。
総合的に皆さん方の意見を拝聴しながら判断していく

問

11月22日の富地区での説明会に40名が出席。事前に出された質問44問への回答が示された。当日も土砂災害、自然破壊、溪谷は守れない、低周波の健康被害など、意見が次々出たと聞いた。

鏡野風力発電事業は、町の総合計画に影響を及ぼす大型開発だが、町長はどう考えているか。

答

町長

後期基本計画では、二酸化炭素の削減効果が期待できる省エネルギーの推進、新エネルギーの普及促進に向けた支援、意識高揚を図ることとしている。事業者には環境影響評価を適切に行い、地元

住民の理解を得た上で事業を進めていただきたい。地元から要望があれば、事業者には住民に分かりやすく丁寧な説明を行うように指導する。

問

保安林の解除に
ついての同意書を
なぜ公表できないのか。

答

町長

保安林は、水源の保持、土砂災害の防止、生活環境の向上などの機能を発揮する特別な森林。同意が必要なのは、保安林の目的の達成に支障がないという判断を行うため。同意を求められた際は慎重に判断したい。また、解除事務手続の一環として捉えているため、公表することは考

えていない。

問

なぜ公表できないのかが分からない。最後の砦として保安林の解除は重要な点になると思うが。

答

産業観光課長

特に他意があるわけではなく、法律で求められていないため公表しないということ。





花房 尚[はなふさ ひさし] 議員

質問 2022年度島根県原子力防災訓練の際の町の対応は十分だったか



避難受入先の本町の対応は十分であり、大きな問題点はなかった

答弁



問 2022年11月12日、中電島根原発の重大事故に備え、「広域住民避難訓練」が行われ、本町にも安来市民が移動されてきたが町の対応は十分だったか。実効性の不安はないか。

答 町長 避難元の安来市および避難受入先の鏡野町も、お互い初めての訓練だったが、本町の対応は十分であり、大きな問題点はなかった。実効性の面では、避難経路所に多くの市民が自家用車等で避難してくることが想定される。避難場所を設定する際に、多くのスタッフと出入りのしやすい広い場所が必要と考えている。

の対応は十分であり、大きな問題点はなかった。実効性の面では、避難経路所に多くの市民が自家用車等で避難してくることが想定される。避難場所を設定する際に、多くのスタッフと出入りのしやすい広い場所が必要と考えている。

問 避難所施設でのコロナウイルス感染症対策は十分できているか。

答 町長 島根県側で、出発の際に感染症対策をとった方を鏡野町で受け入れるものだったが、避難所の受付で、もう一度体温を測り、発熱者等体調不良の方は別の部屋で避難してもらうという設定で訓練を行い、良好にできたと考えている。

問 町の原子力災害に備えた広域避難計画は策定されているか。また、避難住民受入マニュアルはあるのか。

答 町長 避難計画については、「鏡野町地域防災計画 原子力災害等対策編」で策定しているが、避難住民受入マニュアルはない。

問 日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターが保管する劣化ウランなどが漏出した想定の際の防災訓練が、先日、鳥取県・三朝町を中心に実施されたが、岡山県・本町の実施状況、内容はどのようなものか。

答 町長 岡山県原子力防災訓練を、毎年度1回、内容を変えて実施している。令和3年度では、事故発生通達伝達訓練、参集訓練、消火訓練、緊急搬送訓練、住民広報訓練など11項目の訓練を実施した。

問 水源かん養保安林が分布する区域の直接改変に伴う影響として、自然災害による斜面崩壊と土砂流出・土石流の危険性に対して、水の濁り、水源地の消失、浄水場や白賀溪谷等の濁水の発生に対する住民の不安・心配を町としてはどう考えているか。

答 町長 本事業で生じる水源かん養保安林が分布する区域の影響、また自然災害による影響についても、事業者が十分な調査、予測、評価及び対策を講じていることを今後の環境影響評価の中で確認し、住民の不安・心配を解消できるように、県知事および事業者に対し意見を述べていく。



質問 仮称JRE鏡野風力発電事業に伴う「水環境」をどう考えているか

答弁 今後の環境影響評価の中で確認していく



問 水源かん養保安林が分布する区域の直接改変に伴う影響として、自然災害による斜面崩壊と土砂流出・土石流の危険性に対して、水の濁り、水源地の消失、浄水場や白賀溪谷等の濁水の発生に対する住民の不安・心配を町としてはどう考えているか。

答 町長 本事業で生じる水源かん養保安林が分布する区域の影響、また自然災害による影響についても、事業者が十分な調査、予測、評価及び対策を講じていることを今後の環境影響評価の中で確認し、住民の不安・心配を解消できるように、県知事および事業者に対し意見を述べていく。

質問 学校のメンタルヘルスケア対策は



飯綱 洋平 [いづな ようへい] 議員



4年前からスクールソーシャルワーカーを町費で
独自配置し、相談体制を充実させている

答弁

問 小中学校の長期欠席や不登校数の過去5年間の推移・対策は。

答 教育長

長期欠席者（年

度間に連続・断続して30日以上欠席者・不登校者・病気・経済的な理由・その他の理由の合計人数）は、平成29年度Ⅱ小学校6人・中学校9人、平成30年度Ⅱ小9人・中16人、令和元年度Ⅱ小8人・中18人、令和2年度Ⅱ小10人・中15人、令和3年度Ⅱ小8人・中17人。

不登校者（心理的・情緒的・身体的・社会的要因・背景により登校しない、したくてもできない状況にある者）は、平成29年度Ⅱ小学校5人・中学校5人、平成30年度Ⅱ小3人・中11人、令和元年度Ⅱ小2人・中13人、令和2年度Ⅱ小2人・中9人、令和3年度Ⅱ小4人・中5人。

対策として、欠席が続く場合、早い段階での初期対応が大切になるため、学校が中心となり、家庭連絡や訪問を行い、つながりを保つように努めている。スクールソーシャルワーカーによる家庭訪問や保護者への働きかけ、臨床心理士による保護者との面談等を継続的に行うことや、中学校ではオープンクラスを設置し、町費で不登校解消支援員を配置して居場所づくりを支援している。

保健室登校ができる児童生徒には、保健室で過ごさせる対応も行っている。一部の児童生徒には、タブレット端末を家庭に渡し、オンラインでのやりとりや授業配信を行い、つながりを保つ取組もしている。

また、不登校児童生徒の心の居場所づくりとして、津山市教育相談センター「鶴山塾」

を利用して、児童生徒もおり、通塾した際には、出席扱いにしている。

学校、教育委員会、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー、子育て支援課と連携を図り、児童生徒の状況を把握しながら、適切な支援を行うていくことが必要と考える。

問 学校のメンタルヘルスケア対策は。

答 教育長

保護者・教職員

が中心となり対応しているが、養護教諭、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、臨床心理士が専門的な立場から問題解決に向け支援している。



質問 『森の芸術祭』への準備・支援体制は



最大の協力・支援体制をとっていく

問 岡山県北部地域（12市町村）で令和6年秋に開催される県主催事業『森の芸術祭 晴れの国・岡山』への準備・支援は。

答 町長

町としては準備委員会から参画し、町内へのアート作品の展示も計画している。今後、実行委員会において具体的な協議を行い、決定していく。

町では4年前からスクールソーシャルワーカーを町費で独自配置している。県内では他に例が無く、町教育施策の強みと感じる。スクールソーシャルワーカーの仕事は、小中学校への巡回訪問や、長期欠席・不登校の児童生徒には、直接家庭を訪問して家庭状況の把握や問題解決に向けた働きかけを行っている。スクールソーシャルワーカーの採用により相談体制が充実し、近年増加傾向にあった長期欠席の児童生徒数が抑制されている。

観光誘致に向けての専門委員会も、実行委員会内に設置される予定で、受入体制等についても関係機関と連携をとり、スムーズな受入が可能となる万全な仕組みづくりを行いたい。

町としての協力・支援は、私も実行委員会のメンバーであり、最大の協力・支援体制をとっていく。



牧田 俊一「まきた としかず」議員

質問

次世代の負担になることのない財政運営にはどのように取り組むのか



答弁

自主財源の確保、経常的経費の抑制にも努めていく。また、将来にわたり過度とならないよう、起債についても慎重におこなっていく

問

令和3年度の鏡野町の財政力指数は0・297となっている。この現状を町としてどのように捉えているのか。

答

町長 現状の指数が良いものとは思っていない。県北部の町村平均指数は0・274であり、一定の水準は保たれていると考えている。

問

令和3年度の歳入決算では、依存財源と自主財源の構造比が2・7・1（依存財源73・4％の94億5104万円・自主財源26・6％の34億2784万円）となっている状況について、町としてはどのように捉えているか。

答

町長 現行の地方財政制度では、地方交付税や地方債が自主財源の補完的要素を有していることから、自主財源

問

が低いことが一概に財政運営の安定性を損ねているとは限らない。歳入額の維持・増額には、今後、どのように取り組んでいくのか。

答

町長 国・県からの補助金の活用や、「企業版ふるさと納税制度」の活用拡大、町の財産の有効活用、電源立地交付金の継続要望等に取り組む。

問

近年の経常収支比率は、町村単位では70％台が妥当とされる数値だが、鏡野町では、平成28年度より83％付近で高止まりとなっている。今後、経常的経費（人件費・物件費・扶助費・公債費）抑制にはどのように取り組んでいくのか。

答

町長 経常的経費の中で、とりわけ人件費の伸びが大きくなってい

問

る。これは、法改正に伴う、会計年度任用職員の見直しによるものである。また、物件費・公債費についても、新規事業や大規模改修を実施する際には、現在の事業の縮小・廃止・見直しも必要であるとして理解をいただながら、経常的経費の抑制に努めている。

問

令和3年度の公債費負担比率も警告ラインとされる15％以上の17・9％となっており、地方債現債額も117億5143万円となっている。今後の起債額減額の取組と返済計画はどのように取り組むのか。

答

町長 令和3年度の公債費のうち、約3割が平成25年度から平成26年度にかけて実施した「鏡野町地域情報通信施設整備」事業である。

問

この事業は、現在、年間で約5億1500万円を償還中であり、令和6年度には完済となるため、地方債残高及び償還金額が縮小される見込みである。

問

令和3年度決算では、26の基金合計額が91億8600万円となっている。今後、財政状況はより一層厳しさが予測されるが、財政負担減に向けて、目的を明確にした計画のある基金にはどのように取り組んでいくのか。

答

町長 特定目的基金の積立には精査が必要であり、類似の基金は条例の廃止を提案している。今後必要に応じて基金の積立等を行っていく。

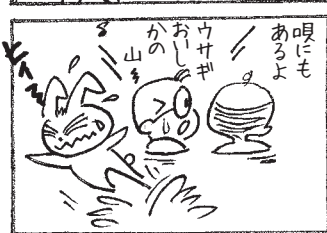
問

令和3年度の決算報告書では不納欠損額が一般会計内で、町税が349万円、分

答

町税の不納欠損額は、令和元年以降200万円～300万円台で推移している。このうち、主な要因は、固定資産税の納税義務者の死亡によるもので、相続人の調査継続中に時効が成立したものである。また、鏡野町は現在「鏡野町徴収金収納調整連絡会議」において、各課の徴収対策について協議し、収納率の向上に取り組んでいる。





【広報特別委員会】
委員長 鈴木 大介
副委員長 藤田 照子
委員 片田 八重美
牧田 俊一
飯綱 洋平
難波 達男
岡田 高幸



鏡野町議会を傍聴してみませんか!!

令和3年2月より本会議・常任委員会・全員協議会のライブ配信をしています。

次回定例会の日程（予定） 詳しくはホームページなどで確認してください。

と き	主な内容
3月3日(金) 10:00～	議案の提案理由説明

※その他の日程は未定のため、3月以降にお問合せください。

【お問合せ先】議会事務局 0868-54-2926

政策提言を提出

令和5年1月13日、山崎親男町長、藤田昭彦副町長、武本吉正教育長へ原章倫議長、岸泰廣議会運営委員会委員長より、鏡野町議会における政策提言を提出いたしました。



シリーズ⑩ 議会用語

議会や議員、行政に関する用語をわかりやすく解説します。

会議録とは?

会議録とは、議会における会議の内容の一切を正式に記録したもので、議会の会議の審議経過や結果を知るために重要なものです。鏡野町の会議録は、議会閉会後の約3か月後に町ホームページの鏡野町議会会議録検索システムで閲覧できます。

編集後記

この「かしの木」第15号は、12月会議の報告・住民との意見交換会報告・委員会の視察研修報告と、一般質問7名分で構成されておりました。盛りだくさんの内容になったと思います。この編集は年末年始にかけ行われますので、今この編集後記を書いているのは、晦日の近づく師走です。

日本政府は、コロナ禍第7波が終息しきらない、この秋口からの行楽シーズン前に、経済活動優先に舵を切り、まさに「第8波に突入か」のニュースが流れています。この「かしの木」をご覧の皆様におかれましては、無事年末年始を過ごされましたか。笑顔で新年を迎える事ができたでしょうか。

令和5年を迎え、町民皆様の平穏と平和を心より祈念致しますと共に、今後とも町議会・かしの木共々よろしくお願い致します。

(岡田 高幸)